

三学期

第二十四回 1月9日

(1)「マインド・マッピング (MIND MAPPING)」

深く広く考えるための技術として、マインド・マッピングという方法がある。実際にそれを利用して社会問題を考えるとともに、一生使えるテクニックとして紹介することにも意義があるだろう。

ア) 概要説明

考え方にも、技術がある。

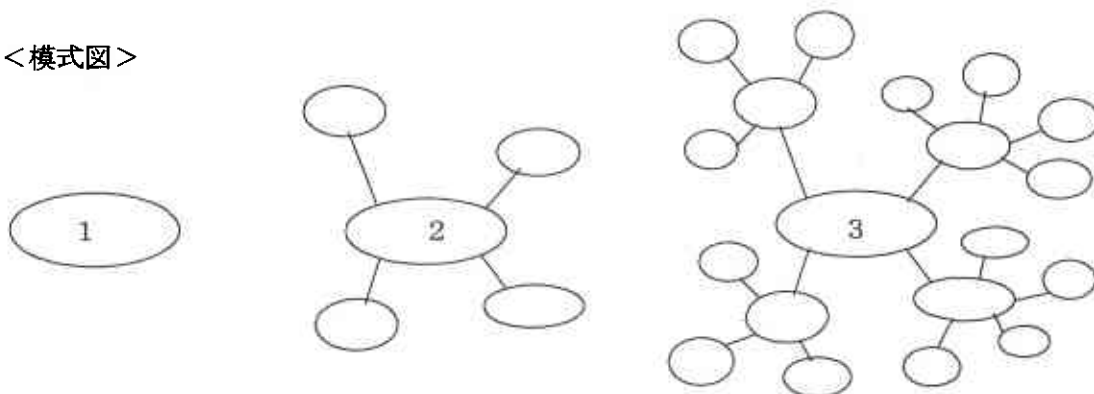
- ・考えを整理できる。
- ・連想を発展させていける。

これらは、社会人として実社会で生きるうえで役に立つものである。

イ) 方法説明

- 1) 大きな紙の中央にテーマを書き、丸で囲む。
- 2) そのテーマから連想されることをそのまわりに書き、丸で囲んで、それを中央のテーマと線で結ぶ。
- 3) 新しい丸から連想されることを更にそのまわりに書いていく。

<模式図>



ウ) ひとつ実例をやってみせる。テーマは生徒にわかりやすいもの。

エ) 生徒へのテーマ「国際社会の重大問題」を出し、全員に書かせる。それを、順番に回して見る。

オ) 大勢が考えたことと、逆にとてもユニークだったことを黒板に書き出す。

(2) 「社会的な活動について」

ボランティア団体などのパンフレット類を人数分用意する。ひとり一部ずつ、受け取る。それらは、言い方を変えれば、「何らかの権利を失っている人たちのために活動している組織」と考えられることを話した上で、各自が資料を読み、分析する。

項目：

- 1) 名前、場所
- 2) どのような権利を失った人のための活動をしているか
- 3) 団体の歴史、背景
- 4) 長期的に目指しているものは何か
- 5) どのような人たちが関わっているか
- 6) 活動の障害となっているものは何か

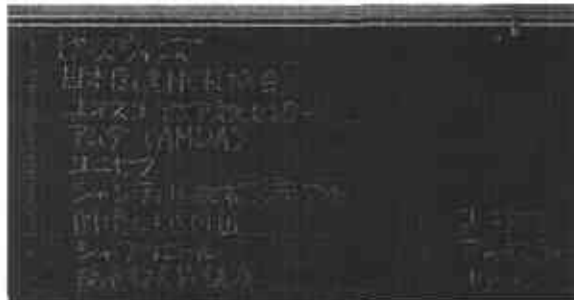
ア) 読むときのメモを、マインド・マッピングでおこなう。紙の中央に団体名を書いて、そのまわりに様々な要素を付けくわえていく。

教員自身もひとつの団体のマッピングを見本として黒板でおこなうと良いだろう。

イ) 短い原稿用紙を配り、その団体を説明するための原稿を書いてみる。協力者を（資金の寄付など）募るつもりで。

書き終わったところで、順番に自分の担当した団体の広報担当になったつもりで、しゃべる。

生徒には、社会の様々な問題とその改善に努力している団体を他の12名に伝えるのであり、その責任をしっかりと果たすようにと言う。



(3) 自分のテーマ国について、マッピング

最終プロジェクト「よそ国」で、各自が架空のストーリーを作りつつある。それをより面白いものにすることを目指す。紙の中央に、自分の行き先と渡航目的を書き、そのまわりに書き広げていく。

(配布プリント)

マインド・マッピング (MIND MAPPING)

深く広く考えるための技術として、マインド・マッピングという方法があります。
今日は、実際にそれを利用して社会問題を考える練習をします。一生使えるテクニックとして役に立つでしょう。

「考え方にも、技術がある！」

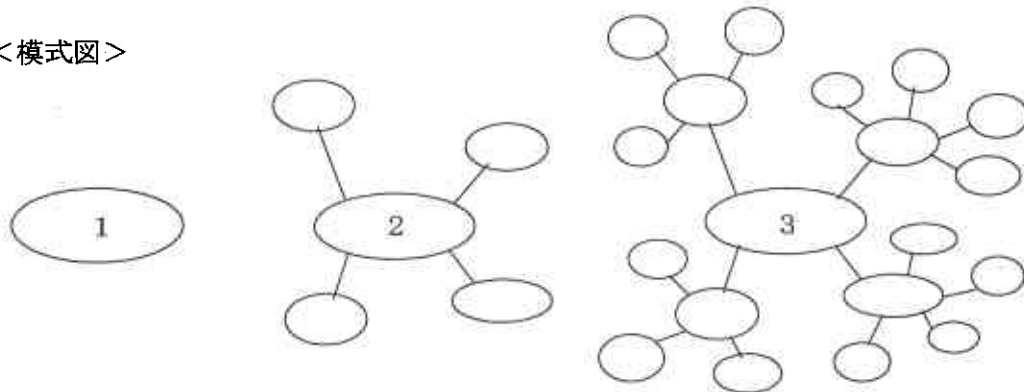
- ・考えを整理できる。
- ・連想を発展させていける。

これらは、社会人として実社会で生きるうえで役に立つ能力です。

「やり方」

- 1) 大きな紙の中央にテーマを書き、丸で囲む。
- 2) そのテーマから連想されることをそのまわりに書き、丸で囲んで、それを中央のテーマと線で結ぶ。
- 3) 新しい丸から連想されることを更にそのまわりに書いていく。

< 模式図 >



「効果」

- ・自分の考えていることが、はっきりしてくる。
- ・大切なことと、それほどでもないことの段階が、わかりやすくなる。
- ・大切な事柄同士の結びつきが、一目で見える。
- ・せっかく思いついたのに忘れてしまっただけに残念に思うことが防げる。
- ・文書を書く前の下書きとして、役に立つ。

「さまざまな団体」(シート1)

- 1) 名前、場所
- 2) どのような権利を失った人のための活動をしているか
- 3) 団体の歴史、背景
- 4) 長期的に目指しているものは何か
- 5) どのような人たちが関わっているか
- 6) 活動の障害となっているものは何か

「さまざまな団体」(シート2) (実際にはこのシートは使用しなかった)

報告者 () () ()

1)			
2)			
3)			
4)			
5)			
6)			

報告者 () () ()

1)			
2)			
3)			
4)			
5)			
6)			

() 月 () 日

<今日のふりかえり>

1. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

(1) マインド・マッピングという技法について

(2) 様々な社会活動について

(3) その他

2. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか？ 「他の参加者たちの役に立つことができたでしょうか」という観点で、考えてみましょう。良かったところ、悪かったところは、どういうところでしたか。自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点（10点満点で）

理由：

3. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういふところでしょうか。分析・評価しましょう。

授業採点：____点（10点満点で）

理由：

<生徒のコメント>

1月9日

1. 今日の授業で、印象に残ったことや深く考えたことを書きましょう。

(1) マインド・マッピング

- ・自分の思っていることを、きれいに整理することができました。
- ・楽しかったです。
- ・いいと思いますが、僕はあまり得意ではないです。
- ・見やすいし、考えやすいかも知れないと思った。
- ・国際社会の問題はけっこうむずかしくて、あとがつづかなかった。
- ・長い文章が書けないのでうまくまとまらなかった。
- ・なかなか素晴らしいと思った。
- ・今までは、あまりやった事がなかったので、良い機会になったと思う。
- ・連想ゲームみたいだったけど意外と難しかった。
- ・さいしょに形を見た時に映画の「ペイ・フォワード」を思い出した。あと、悩んでいる時とかこんな考え方すると思った。

(2) 様々な社会活動について

- ・色々な人たちが、色々な所でお互い助け合っていることが良くわかりました。少しずつでもいいので私も参加してみたいと思いました。
- ・世界にはさまざまな社会活動があると思いました。
- ・小学校の時からユニセフ募金だけ学校でやっていたからわかるけど、企業も色々な活動をしていることを知った。
- ・たくさんあるんだなと思った。
- ・色々な活動がありすぎて募金するにしても決めるのが大変。
- ・世の中には色々な活動をしている人がいるんだなあと感心した。
- ・様々な問題がある中で、社会活動は、大切なことだと思った。
- ・世界平和のために活動しているのだからもっと考えていきたい。
- ・知らない団体が沢山あった。名前は知っていても活動はくわしく知らなかったりしたので知る機会になって良かった。

(3) その他

- ・色々な種類のボランティアがあることを知りました。
- ・なんとなく、人の役に立てる仕事をしたいと思いました。
- ・がんばるぞ。

2. 自分が、能動的に参加して考えることができたでしょうか? 「他の参加者たちの役に立つことができたでしょうか」という観点で、考えてみましょう。良かったところ

ろ、悪かったところは、どういうところでしたか。自己分析・評価しましょう。

自己採点：____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）自分の考えを全て出すことができました。
- ・（8）まあまあ、上手く出来たと思います。
- ・あんまりかいてないから、役にたってないけど、みんなのは役にたった。
- ・（4）上手く発表？ 説明できなかった。
- ・（10）たくさんかくようにした。わかりやすかった。パンフレットにあまり活動がかかれてなく、現状が書いてあったので発表はこまりました。
- ・（10）眠いけど寝ずに頑張った。
- ・（8）自分の感想が言えたから良かったと思う。
- ・（10）がんばったので、他の人たちに役立っていることを期待する。
- ・（8）マインド・マッピングを書く時に、沢山考えて多くの分かれ道を出せたと思う。

3. 今回の授業の、テーマ選び・展開のしかたなどで、問題点があるとすれば、どういうところでしょうか。 分析・評価しましょう。

授業採点：____点（10点満点で）

理由：

- ・（10点）社会について色々と知れて、良かったです。
- ・（8）今年初めての授業だったのでちょっと緊張しました。
- ・（8）国際社会の問題ってゆうのはよくわかんなかった。
- ・（10）特にないです。
- ・（8）意外とためになった。
- ・（9）とても役にたつことだと思った。
- ・（9）連想ゲームから考えや問題を発展させるのはすばらしい。
- ・（7）自分でやるコトによって、他の人に頼らずにやる力が出来ると思う。冬休みの課題についてふれてないのはどうして??と思った。

授業者のふりかえり：

「（2）社会的な活動について」は、これだけで一年間の学習になりえるくらいの内容があるのだが、そちらに進むか、それとも創作課題に進むかという選択で、こちらは軽く触れるだけにとどめた。ただ、授業一回では、さすがに不完全燃焼で、もう一回分の時間は投入すべきだった。

第二十五回・二十六回 1月16日・23日

「よそ国」の作成。第二十六回（最終回）には、以下のアンケートをとった。

三年生 選択「国際理解」

学年末調査

用紙1

2003年1月

()組 ()番 氏名 ()

ファイルのこれまでの記録を読み直し、ふり返って、思うところを書いてください。

(1) 一年間の授業全体を通して、新たに気がついたり深く考えられたりして良かったということがあったら、書いてください。

(2) 期待していたことをやらなかったとか、物足りなかったことなど、良くなかったことがあったら、書いてください。

(3) 授業を通して、ものの見方や考え方で、なにか自分自身の変化は、ありましたか？ あったとしたら、それはどんなことでしたか？

(4) 国際理解の授業では、大切なこととして、「他の参加者たちの役に立てるように考え、話し、行動すること」を取り上げてきました。このことについて、自己評価をしましょう。

評価をつけるなら、何点でしょうか？・・・10点満点で、()点

理由・判断の根拠：

(5) この一年間の、「国際理解」の授業に、評価をつけてみてください。
今後の生徒たちのために、役立てたいと思います。

ア) 普通の「講義型」授業とは異なる授業スタイルでした。内容も、与えられるものの暗記ではありませんでした。それについて、考えたこと、感じたことを書いてください。

イ) この一年間の授業で良かった点、悪かった点、なるべく具体的に書いてください。

ウ) 評価をつけるなら、何点でしょうか?・・・10点満点で、()点
理由・判断の根拠:

<生徒のコメント>

ファイルのこれまでの記録を読み直し、ふり返って、思うところを書いてください。

(1) 一年間の授業全体を通して、新たに気がついたり深く考えられたりして良かったということがあったら、書いてください。

- ・日本のことだけではなく、世界の色々な国を新しい視点から見れてとても嬉しかったし、楽しかったです。
- ・忘れていたけど、本当にいろいろなことをやっていて、世界の良い所や悪い所を自分の中で深く考えられたところが人生に多少のプラスになったと思います。
- ・今まで考えなかった事等だったんで、いつも、ああ、そうなのか、って思っていた。
- ・世界には、たくさんの知らないことがあるんだと思った。
- ・世界の人々が今、どのように状況におかれているのかを考えたり、知ることができてよかった。
- ・差別という事について考えさせられる事が沢山あって良かった。
- ・初めの方は国際理解って本当なんだろう、授業やってても意味あるのかなと考える事でしたが、1年を通してようやくやってきた事がわかりました。すごい世界の事に目を向けたし話したと思います。みんなと意見を言い合うというのは、相手が何を思っているのかもわかるので本当よかったと思います。
- ・パソコンに興味ができた。
- ・今までの授業で一番おもしろかったのが、コーヒー畑の売買のシミュレーションみたいな授業です。
- ・国際理解という授業は、今まで知っている様で知らなかったことや、普段は、あまり考えることがないものなどについて、勉強ができたので良かった。

(2) 期待していたことをやらなかったとか、物足りなかったことなど、良くなかったことがあったら、書いてください。

- ・もう少し討論とかをして、相手の意見などを聞いてみたかったと思いました。
- ・特にありません。すべて期待以上でした。
- ・特に、ない。いつも何をやるのかわからないのでドキドキだった。
- ・世界中の人の生活習慣とかをいっぱい知りたいと思う。
- ・特になし。充分です。
- ・権利の事でみんなと話し合ったのは、討論みたいのができたのでよかったと思います。良くなかったというのはいないです。
- ・特にないです。
- ・たまに、何を伝えたいのか良く分からない授業がありました。
- ・他の授業とは、血あうことが沢山できたので、物足りないと思うことはとくに無かったです。

(3) 授業を通して、ものの見方や考え方で、なにか自分自身の変化は、ありましたか？
あったとしたら、それはどんなことでしたか？

- ・自分のことだけではなく、相手の意見を聞いたりして、物の考え方などが広がったと思います。
- ・世界に目を向けることにより、自分自身をよく知ることができた。自分も、この地球上にいらしている一人の人間なんだという当たり前のことに気がつきました。
- ・書かないよりは間違っていたとしても書いた方がいい。人によってものの見方が違うので、普通に暮らしてても、この人だったらこうかな？と思うことがある。
- ・わからない。
- ・物を見る、感じる、感覚が豊かになったと思う。
- ・人の数だけいろんな考え方があると思いました。考えさせられたのもありました。何か積極的になれた気がします。
- ・特に変わりはないですが、考えるようになりました。
- ・なんとかマッピングとかいう考え方がとても実用的で、けっこう使ってます。
- ・ひとそれぞれの価値観の違いを知ることができ、他の国々に対する関心を持つことができた。

(4) 国際理解の授業では、大切なこととして、「他の参加者たちの役に立てるように考え、話し、行動すること」を取り上げてきました。このことについて、自己評価をしましょう。

評価をつけるなら、何点でしょうか？・・・10点満点で、()点

理由・判断の根拠：

- ・(10点) 自分の意見もはっきり言え、相手の意見も素直に聞けました。自分の意見を人に伝えるのは難しかったけど、伝えられたと思うので。
- ・(8) ちゃんと発言もでき、悪いことはなかったと思います。
- ・(4) 気づけた事というのは、皆より+1とかいう事があまりなかったから。むしろ、皆に“ああ、そうか”と気づかされることが多かった気がする。
- ・(8) 役に立てた時と立てなかった時があったと思うけど、役に立てるようにがんばった。
- ・(10) 考え、自分なりの意見を言ったので、多少なりとも他の人の考えのたしになったのでは。
- ・(7) 考えたし、意見を言う様に努めた。
- ・(9) 自分の考えも考えなおされる所がたくさんあったと思います。
- ・(8) 最初これなかったので・・・
- ・(5) 他の参加者たちの役に立つ日と立たない日がまちまちだから。
- ・(6) もう少し、自分の考えが言えたら良かったなあと思いました。

(5) この一年間の、「国際理解」の授業に、評価をつけてみてください。

今後の生徒たちのために、役立てたいと思います。

ア) 普通の「講義型」授業とは異なる授業スタイルでした。内容も、与えられるものの暗記ではありませんでした。それについて、考えたこと、感じたことを書いてください。

- ・その場で考えて発言するのは大変だったけれど、自分の気持ちをそのまま出すということは素晴らしいことなので、とても勉強になりました。
- ・やっぱり、これからの時代は自分自身で物事を考えて生きていかなきゃいけないと思いました。
- ・講義型は、書いて、聞いてと受け身だったので、とくに頭で考えなくてもいいけど、この授業は聞いて、考えて、答えるという参加してためになるという授業だったので、今までに、あまりやったことのないせいか、私には難しくて、大変だったけど、学校を出て社会に出るとこうゆう事は、とても大切なのかも、と思いました。
- ・暗記はなくてよかったけど、考えることはいっぱいあったから大変だった。
- ・イスが座りづらい。暗記ではなく、自分の視野を広げるのも教育のひとつとして大切なのでいいと思う。
- ・毎回不思議な感覚でした。
- ・人と話し合う事、考えることには、とても意味がありました。世界の状況を知ることができて良かったです。
- ・やりにくい部分もあるし、楽しい部分もあったと思います。
- ・良かったと思います。
- ・他の「講義型」授業に比べて、自分の意見を述べる機会が、とても多く良かったと思います。

イ) この一年間の授業で良かった点、悪かった点、なるべく具体的に書いてください。

- ・(良) 新しい自分を発見することができました。
- ・(悪) 一回だけ休んでしまいました。 ふつうの授業と違うので大変(>_<)
- ・良かった点はほとんど休まなかったこと、悪かった点は、特にないです。
- ・見ているだけでなく、体験したり(カレーを食べたり、言葉を読んだり)したので楽しかった。アメや品物なども目の前にして考えてみるとわかりやすい。
- ・いすにすわってやるが多かったから、外にでたいと思った。遠足みたいにとっか行きたかった。
- ・良かった点は視野が広がったこと、悪かった点は今日のふりかえりプリントは残りの5分で書くのが大変だったこと。
- ・参加している人たちは良かったけれど、毎回協力してくれない人がいたのが残念。
- ・カレーを作ったことが何か楽しかった。他の国の料理もつくりたい。
- ・良かったことは皆の意見をきけること。
- ・特になし。
- ・他の人たちと相談して、物事を考えることができたのが良かった。

ウ) 評価をつけるなら、何点でしょうか?・・・10点満点で、()点

理由・判断の根拠:

- ・(10点) 意見も沢山言えたり、聞くこともできました。そして何よりも楽しむことができました。(^^) 普段あんまり聞いたことのない国のことのない国のことも知れたので良かったです。
- ・(10) 最後の「よそ国」がどれだけできるかどうかで10点になります。
- ・(8) ゲームをしたりする時の説明が、よくわからない事があったから。今までに無い授業で、いつもの授業とは違う事や価値観の違いなどを学べたから。
- ・(8) もっと、あそびながら、世界を知っていききたい。
- ・(8) こういう授業はあったほうがいいと思うんで。
- ・(8) 生徒次第の授業だと思うから。
- ・(8) みんなと話し合う事ができたからです。授業もちちゃんと聞きました。
- ・(8) 何をすればいいのかわからない時があったので。
- ・(8) 先生の努力が見えます。
- ・(10) 他の授業とは違った内容、形態で勉強ができたから。

() 組 () 番 氏名 ()

自分で、以下の項目について評価をしましょう。

[illegible]

3) 調べ方について、良いやり方として挙げられることを、書いてください。

4) 調べていく際に、驚いたことや新たに気づいたことについて、書いてください。

5) 国の基礎データ調べについて、自分を評価してみましょう。

- ・10点満点で、()点
- ・判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

<ストーリー>

1) ストーリー作りには、充分な時間を使ったと思いますか？

よい まあよい ふつう 少し悪い 悪い
(5 4 3 2 1)

2) ストーリー作りを、楽しみましたか？

楽しんだ 楽しまなかった
(5 4 3 2 1)

3) ストーリー作りで、面白かったところや工夫したところとして挙げられることを、書いてください。

4) 難しかったことについて、書いてください。

5) ストーリー作りについて、自分を評価してみましょう。

- ・ 10 点満点で、() 点
- ・ 判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

最後に、一年間を通して総合的に、自分で自分に成績をつけるとしたら、何点ですか？

- ・ 10 点満点で、() 点
- ・ 判断の根拠は、何ですか？ なるべく具体的に書きましょう。

国際理解 最終課題について

2002 年 1 月 23 日

1. <国の基礎情報>と、<ストーリー>のふたつを完成させます。最終提出日は
2月5日（水）17時まで、です。
2. その際には、この一年間の感想文も、一緒に出しましょう。
（長さは、一枚を超えるときは別の紙に2ページ目を書きましょう。
または、感想文も打ち込んフロッピーに入れてもかまいません。）
3. 作品は、全員ぶんまとめて、冊子に作っておきます。卒業式の日までに、ひとり一冊ずつ用意しますから、楽しみにしてください。各自の水色ファイルは、その際に同時に返却します。

締切までは、あと二週間ほどあります。その期間に、個別に進展状況を確認して、必要なアドバイスなどしていきます。**面白い作品**を完成させましょう。

第三部

2002～2003年 三年生選択授業「国際理解」

学年末 創作プロジェクト

『よそ国』

一年間の授業を通して以下の目標がありました。

- (1) ステレオタイプや偏見で人を見ないよう、多様性を受け入れていくこと
 - (2) 自分のことばかり関心を持つのではなく、他の人たちの言葉に耳をかたむけ、また自分もその場の一員としてみんなの役に立つよう、考えたり表現したりすること
- これらを通して、お互いに学び、大切にしたい姿勢を持つことが、これからの社会に何より重要だとの考えの元に、計画されました。

4月からの展開は、まず、自分自身という最も近くて小さいところからあらためて考えてみるのところから始まりました。そこからは「小さい → 大きい」「距離が近い → 遠い」「時間が近い → 遠い」という流れで、進んでいきました。これは、より大きく遠くを見られるようになることが、人間としての、人間らしい成長であり成熟であるからです。そして、お互いに成熟していくことが、これからの世界に生きる人として大切であり、よりよい社会を作っていくために欠かせないからです。

<一年間の、展開>

一学期

- 第一回「年間の展開の説明（『小』から『大』へ）と、アイデンティティについて」
- 第二回「アイデンティティとステレオタイプ」
- 第三回「人と人、関係の持ち方」
- 第四回「あっていい違い、いけない違い」
- 第五回「身近な偏見・ジェンダー問題」
- 第六回「世界各地の写真から読みとる」
- 第七回「ビデオを見て、考える その1」
- 第八回「ビデオを見て、考える その2」
- 第九回「カレーを手で食べてみよう」
- 第十回「一学期のまとめ ステレオタイプと偏見を打破する」
- 第十一回「風土と、文化」

二学期

- 第十二回「絵本『世界がもし100人の村だったら』を使って その1」
- 第十三回「絵本『世界がもし100人の村だったら』を使って その2」
- 第十四回「絵本『世界がもし100人の村だったら』を使って その3」
- 第十五回「絵本『世界がもし100人の村だったら』を使って その4」
- 第十六回「識字問題」
- 第十七回「所得」
- 第十八回「日常生活と輸入品」
- 第十九回「多様な価値観」
- 第二十回「創作物語『よそ国』 その1 基本情報調査と、コンピューター操作」
- 第二十一回「権利」
- 第二十二回「創作物語『よそ国』 その2 基本情報調査と、目的にあわせた調査」
- 第二十三回「創作物語『よそ国』 その3 これまでの調査を元にした物語作り」

三学期

- 第二十四回「問題解決への努力 NGO等について」
- 第二十五回「創作物語『よそ国』 その4 物語の打ち込み」
- 第二十六回「創作物語『よそ国』 その5 物語の打ち込み、編集・構成、完成」

様々な学習の最後に、まとめとして創作物語を作るプロジェクト『よそ国』を行いました。この冊子は、授業参加者がそれぞれ架空の目的で世界各地へ行く物語を創作した作品集です。（作成した生徒の名前は、この冊子では省いています）

＜生徒作品集 目次＞

ページ

207 一年間の展開について

208 生徒作品集 目次

209 ～ 12 プロジェクト『よそ国』の概要説明

・・・生徒作品・・・

生徒がカードを引いて決まった、「行き先」と「行く目的」の組み合わせ

- | | | |
|-----|--------------------------------|------|
| 213 | (1) フィジーへ、農水産物の買い付けに行く | 3年1組 |
| 218 | (2) スリランカへ、バンドのマネージャーとして行く | 3年3組 |
| 220 | (3) デンマークへ、その国に住む高名な武道家と勝負しに行く | 3年3組 |
| 225 | (4) セネガルへ、食べ物雑誌の取材に行く | 3年4組 |
| 231 | (5) ルクセンブルグへ、旅行中の家族が病気になったから行く | 3年4組 |
| 234 | (6) ネパールへ、自分の結婚式に行く (相手がその国の人) | 3年5組 |
| 241 | (7) トルコへ、テレビ局の取材に行く | 3年5組 |
| 242 | (8) 南アフリカへ、友人の結婚式に行く | 3年5組 |
| 248 | (9) ポルトガルへ、現地の大学に留学する | 3年5組 |
| 258 | (10) ラオスへ、野生生物の生態調査に行く | 3年6組 |
| 266 | (11) ハンガリーへ、現地の芸術を学びに行く | 3年6組 |

(生徒配布用プリント)

選択 国際理解 最終プロジェクト

『よそ国』

卒業まで残りの授業回数が少なくなってきましたので、最後の「自分で調べるプロジェクト」を始めます。

用意する活動：『よそ国』・・・これからの予定・・・

〔1〕ブレイン・ストーミング

まず初めに、一学期の最初にも触れた、「日本人らしさって何だろう？」というテーマで、ブレイン・ストーミングをする。

〔2〕「外国へ行こう！！」バーチャル世界旅行

- (1) 「行き先」カードを引く。そこで引き当てた国や地域へ、日本から出掛けていくことになる。その地域の基本情報を、調べる。
- (2) 「日本からの出国目的」カードを引く。先に引いた土地で何をするかが、決まる。
- (3) 目的カードにあわせて、調査をする。目的にあわせた行動をする上で必要なことを、衣・食・住などについて調べていく。
 - ・ 入国手段や交通状態は、どうなっているか。
 - ・ 「目的」を順調に果たすためには、何が必要か。
 - ・ 日本で、どんな事前準備をしなくてはならないか。進展状態を見て、調べ方や考え方のアドバイスをしたり、「アクシデント」カードを引いたりする。
- (4) 報告。

これは、創作。架空の旅のストーリーを作る。紙とは限らず、e-mail だったりビデオ・レターだったり、さまざまなパターンが考えられる。

<授業の流れ>

〔1〕ブレイン・ストーミング

まず初めに、一学期の最初にも触れた、「日本人らしさって何だろう？」というテーマで、ブレイン・ストーミングをする。その結果をまとめておく。これは、一年間を通して学んできたことを思い出す機会になる。

「国際理解」というテーマの下で重要な点として、

(ア)「日本 対 その他」というような単純な二分割で考えるのが幼児レベルとすれば、そこから成長して、現実の社会は複雑で多層的であることを理解し受け入れていくこと。

(イ) 様々な違いを、喜びと好奇心を持って受け入れ、それらに敬意を持つこと。

(ウ) 自分もまた他者に役立つように発言、表現すること。

これらの姿勢を身につけていくことが目的となっていた。

〔2〕「外国へ行こう！！」バーチャル世界旅行

(1)「行き先」カードを引く。そこで引き当てた国や地域へ、日本から出掛けていくことになる。

手順：

1) 国の調べ方を考える。

行き先の国を調べるといったときに、どんな項目が挙げられるかを皆で考えてリストを作る。

行き詰まるかも知れないので、その際には、何種類か国について紹介している資料を用意しておき、そこにはどういう項目が出ているかを調べてみる。

2) 行き先カードを引く。

自分が行くことになる場所が決まる。

「行き先」(「出身国」)カードのセット

地域、宗教、その他の要素が、なるべく片寄らないようにしておく。

「行き先」カード 例

ネパール・ラオス・スリランカ・トルコ・ハンガリー・デンマーク・ケニア・マダガスカル・南アフリカ・セネガル・ルクセンブルク・ポルトガル・キューバ・ウルグアイ・コスタリカ・フィジー・

3) 上記1)で調べ方を考えた項目を元に、次週までにその国の基本情報を調べてきて発表する。必要ならば原稿も用意してくる。

最終的には、全員分のものをひとつにまとめてきれいなカラーの冊子を作る予定なので、前年度の冊子を見本として回覧。

各自が調べてきたことを発表しあう。これは、お互いにどういう情報がどうすると手にはいるのかを教えあうことにもなる。

基本的な情報がわかったところで、一歩先へ進み、「目的カード」を引く。

(2)「日本からの出国目的」カードを引く。先に引いた土地で何をするかが、決まる。

「日本からの出国目的」カードのセット

職業、趣味、その他、これも多様なものを用意したい。

「日本からの出国目的」カード 例

野性生物の生態調査・農水産物の買いつけで出張・テレビ局の取材・結婚式のため
(相手がその国の人)・友人の結婚式のため・旅行中の親がその地で病気になった・
旅行中の家族がその地で交通事故にあった・日本語教師として働く・現地の大学へ留学・
サッカーチームで遠征・コンサートツアーのバンドのマネージャー・食べ物雑誌
の取材・日本舞踊の先生として招かれた・その国に住む高名な武道家と勝負したい・
現地の音楽を学びたい・

(3) 引いたカードの目的にあわせて、調査をする。目的にあわせた活動をする上で必要なことを、衣・食・住などについて調べていく。

- ・入国手段や交通状態は、どうなっているか。
- ・「目的」を順調に果たすためには、何が必要か。
- ・日本で、どんな事前準備をしなくてはならないか。

進展状態を見て、調べ方や考え方のアドバイスをする。基礎知識の上に、自分のカードの目的と現地事情とを結びつけて考えていくことで、イメージが持ちやすくなり次の創作活動がしやすくなる。

(5) 報告。

これは、創作活動。架空の旅のストーリーを作る。紙とは限らず、e-mail だったりビデオ・レターだったり、さまざまなパターンがあってもいいだろう。

どんなに良い知識も、憶えるだけでは生きたものにはならない。自分が行動する仮定で、どのような場面で、また特にどういう人とどう関わっていくかをいろいろと空想し、自分で価値判断をしていく過程を通して、断片的な知識を大きく統合し内面化することができる。つまり、学んだことを自分のものにできる。

〔3〕最後に、全体のまとめ。

実際には時間がとれないので、冊子を作って配り、お互いの作品が読めるようにするま

でしかできない。余裕があれば、感想などを交換できる場が持てるとよいだろう。他には、たとえばゲストを招くなどして、現実社会の困難や問題についてより深く学んだり、もう一度、最初の問い「日本って何だろう?」「日本人って何だろう?」を皆で考えてみたり、という方法も考えられる。

<参考>

このプロジェクトは、さらに複雑化することもできる。

- (1) ある程度創作活動が進んだところで、予想外の出来事に遭遇することにする。

「アクシデント」カード 例

パスポートをなくした・酔っぱらって、翌朝目が覚めたら鉄格子のある部屋にいた・日本のテレビ局から旅行番組のレポーターを頼まれた・39°を越える発熱・地元新聞の一面に自分の写真が載っているが、言葉がわからず理由がわからない・宝くじで1千万ドル当たったが、国内で使い切らないといけならしい・気に入ったので、このまま永住したい・国籍をとりたくなかった・子どもを現地校へ通わせたい・火事で持ち物を失った・政情不安で、かなり危険になってきた・日本食がどうしても食べたい(ホームシック) など

- (2) 自分が日本から出国した物語が終わったら、今度は、逆に世界各地の人が日本へやってくる、何らかの目的を果たそうとする、という仮想物語の創作をする。国別カードは出身国として、目的カードもそのまま使える。

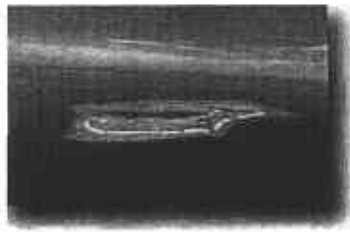
(1) フィジーへ、農水産物の買い付けに行く

3年1組

テーマ フィジー 魚の買い付けに行く



テーマ	魚の買い付けに行く
正式名称	フィジー共和国 Republic of Fiji
首都	スバ
人口	80万1000人
面積	1万8000平方km
時差	日本より3時間進んでいる
気候	雨期 12月～4月 乾期 5月～11月
通貨	1フィジードル＝約88円



<http://www.south-pacific-tours.com/fiji/>

<近い国>

南・北太平洋に点在するフィジー、トンガ、ヴァヌアツ、キリバス、トゥヴァル、ナウル、パラオ、ミクロネシア、マーシャル。いずれも 1970 年代から 90 年代にかけて独立した若い国です。

<民族、文化面>

フィジー及びヴァヌアツがメラネシア（黒い島々の意）に属しトンガおよびトゥヴァルがポリネシア（多くの島々の意）、そしてキリバス、ナウル、パラオ、ミクロネシア及びマーシャルがミクロネシア（小さな島々の意）に属し、それぞれ少しずつ異なった独自の文化・民族色を持っています。

<島・人口>

フィジーは、火山活動や珊瑚礁の隆起によりできた約 330 の島々からなりますが、人口約 77 万人（96 年政府推計）のほとんどは二つの大きな島（ヴィティ・レヴ島、ヴァヌア・レヴ島）に集中しています。民族は先住民のフィジー系と英国植民地時代以降移住してきたインド系にほぼ二分され、その他欧州系、中国系、ポリネシア系、その他近隣島嶼国系、これらの混血などが人口の約 2 % を占めています。

<政治>

99 年 5 月に行われた総選挙では初のインド系首相が誕生しましたが、2000 年 5 月には民間人と一部の軍関係者が約 2 ヶ月にわたって閣僚や国会議員を人質に国会辞任等を要求する事件が起きました。しかし、2001 年 8 月に行われた総選挙で民主政治が復活し、フィジーは国際社会における評判を急速に取り戻しつつあります。

<ストーリー>

①一人で飛行機で行く。

↓

②漁場の決定。

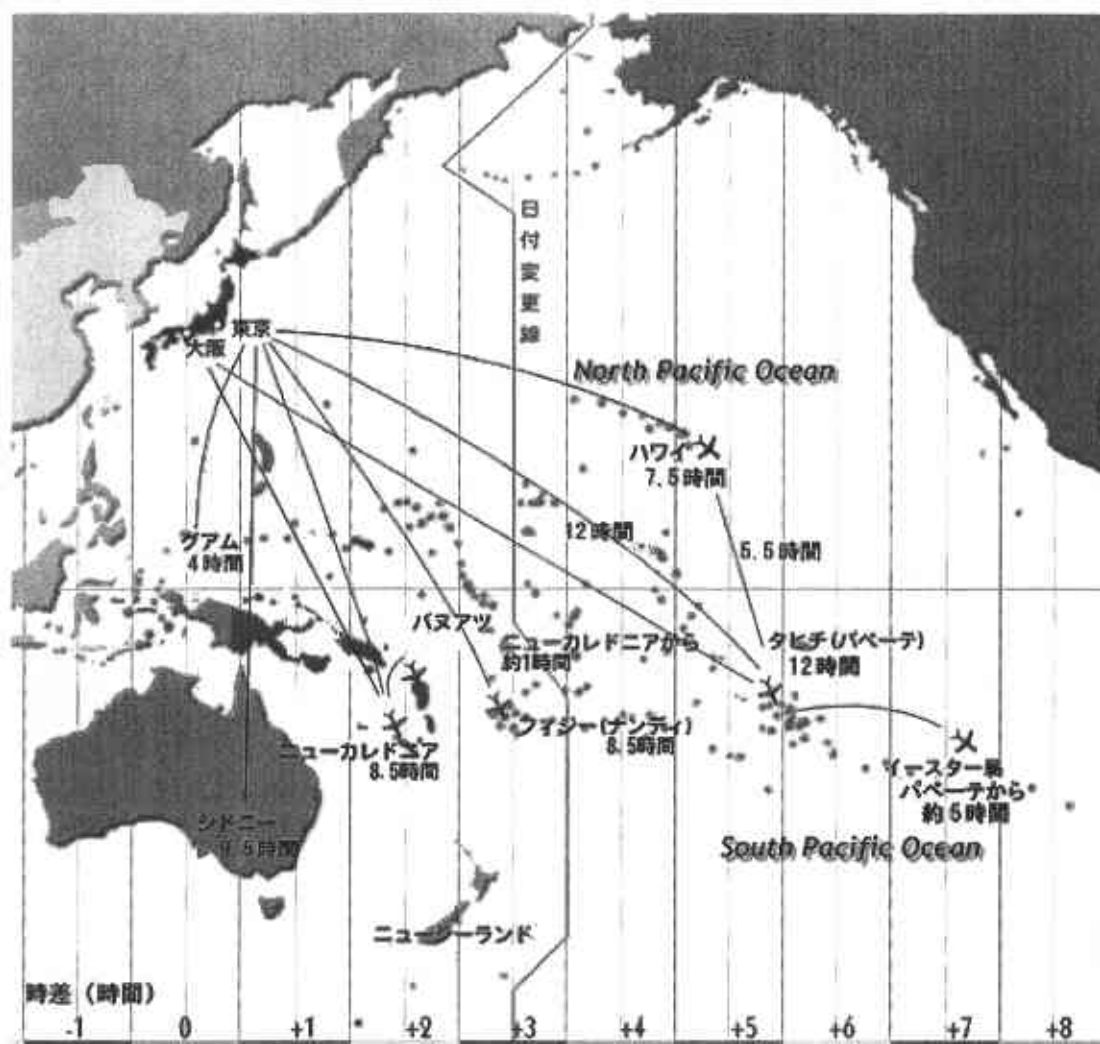
↓

③マグロの買い付け。

↓

④ホテルに泊まる。

①一人で飛行機で行く。



<http://www.south-pacific-tours.com/fiji/info/flight.htm>

★成田→ナンディー (エア・パシフィック航空) 約8時間30分

ナンディ着

<月,木,土> FJ303 19:00 → 06:45 <火,金,日>

ナンディ発

成田着

<月,木,土> FJ302 10:50 → 17:00 <同日>

★ナンディーから首都のスパまで、バスで4時間かけて移動する。

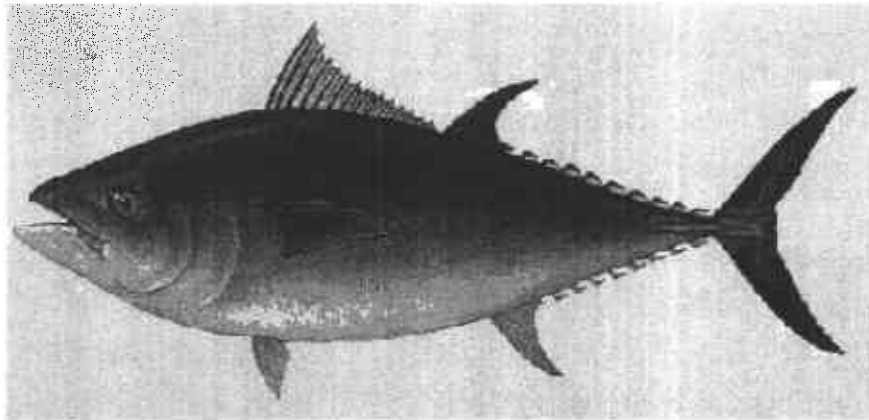
②漁場の決定。

★フィジー近海はマグロの好漁場であり、獲れたマグロはアイシング（マグロ自体は冷凍せず、周りを氷詰めにする）して航空便で日本に運ばれ、高級料亭に売られるのだと言う。ナンディーから関西空港まで、マグロ専用の貨物便が飛んでいるらしい！スバからナンディーまでトラックで4時間かかるのだが、鮮度を保つため、飛行機の出発4時間前にマグロをスバ港に水揚げして、大至急トラックでナンディーまで運んで、出発ぎりぎりに飛行機に積んで日本まで送っているのだそうだ。

★スバの魚市場では近在の漁民が水揚げしたリーフフィッシュ各種、カツオ、マグロ、タチウオ、サヨリ、メアジなどを入手できる。ときにはカニ、伊勢エビ、アナジャコ、タコ、ウニ、二枚貝、巻貝、海草も見られる。スーパーでも鮮魚、エビ、イカなどを扱っているほか、魚専門店では3枚おろしにしてもらうことも可能である。また、さばくのは一苦勞であるが、輸出漁業会社から刺し身用のマグロ（キハダ、メバチ）も購入可能である。

★高級料亭などでは「良質のメバチマグロのほうが赤身も美しく、トロもしつこくないので他の食材とのマッチングが良い！」と重宝されていることからメバチマグロを買い付けることにする。

★メバチマグロ



- 学名 : *Thunnus obesus*
- 分類 : スズキ目 サバ科 マグロ属
- 業界用語 : ばち
- 別名 : ダルマ（幼魚）
- 全長 : 2 m
- 漁法 : マグロ延縄漁法

★輸出漁業会社からメバチマグロを買い付ける。

会社名 : Fiji Fish

所在地 : Queens Road Lami <スバ>

備考 : マグロ輸出会社

④ホテルに泊まる。

ラッフルズ・トレードウィンズ・ホテル<Raffles Tradewinds Hotel>



住所： P.O.Box3377, Queens Rd., Lami, Suva

TEL: 336-2450 FAX: 336-2455

クラス：B 客室数：110 [S/D/Su]

《カップル》《ファミリー》《グループ》

施設：レストラン、バー、エアコン、バス、

シャワー、プライベートビーチ、プール、

ベビーシッター

カード：AMEX, VISA, MASTER, JCB, DINERS <http://www.bulafiji-jp.com/index2.html>

★スバの中心部から車で10分ほど西へ行ったラミ湾に面するホテルです。フィジーでも有数のコンベンション施設を併せ持ち、とりわけビジネス客にから高い支持を受けています。リニューアルしてから間もないため客室には清潔感があり、また、すぐ前の湾に浮かぶ小島の景色は素晴らしく、リゾート気分も味わえます

★スバはフィジーの首都。南太平洋随一の港町でもあり、世界中からやってきた客船や漁船がいつも停泊しています。

植民地時代の建築が多く残され、無国籍な情緒が漂っています。

賑やかなこの町ではショッピングが楽しいでしょう。見逃せないのはフィジー最大の市場。

南国ならではの野菜やフルーツ、魚などは見ているだけでも楽しめます。

このほか、花の咲き乱れる庭園サーストン・ガーデンや、その中にあるフィジー博物館などもあります。

★フィジー料理：Vasiti。鯛と野菜の料理

<感想>

パソコンで作るのはすごくむずかしかった。

だけどインターネットで調べたりするのが、楽しかった。

フィジーについては観光のことが多く漁場を探すのが一番大変だったと思う。

漁場の事が分かった時は嬉しかった。フィジーは観光だけじゃないのがわかって色々な面を持っている事が分かった。

<http://www.asahi-net.or.jp/~HC7Y-SNU/sanoo/Travel79/Travel79.html>

<http://websearch.yahoo.co.jp/bin/query?p=%a5%d5%a5%a3%a5%b8%a1%bc++%a5%de%a5%b0%a5%ed&hc=0&hs=0>

(2) スリランカへ、バンドのマネージャーとして行く

3年3組

『基礎データ』

スリランカってどんな国？

インド南東に浮かぶ島国。象使いのいる国。紅茶と宝石とスパイスの国。悲しむべき民族紛争。オレンジ色の衣装の仏教僧たち。悪魔払いと占星術の国。

正式国名 スリランカ民主社会主義共和国

首都 スリジャヤワルダナプラコッテ

人口 1,855万人(97年)

面積 66000平方キロメートルb(97年)

人口密度 283人/平方キロメートル(97年)

産業別人口の割合

第1次産業 33,2%

第2次産業 17,6%

第3次産業 49,2%

一人あたりの国民総生産 800ドル(97年)

エネルギー消費量(石炭換算) 176キログラム/1人(95年)

老年人口率(65歳以上) 4,3%

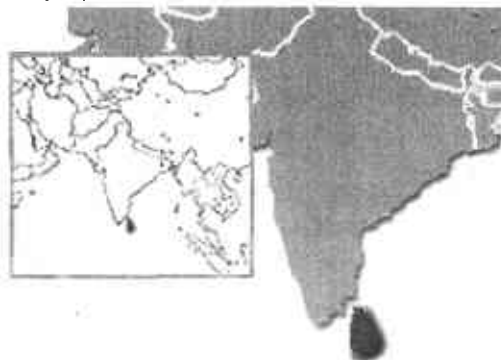
通貨単位 スリランカルピー

主な民族 シンハラ系74%、タミル系

主な宗教 仏教69%、ヒンドゥー系

主な言語 シンハラ語、タミール語

在スリランカ日本国大使館より地図引用



<空想的ストーリー>

国名 スリランカ 行く目的 バンドのマネージャーとして

あらすじ

僕は民族・宗教的な音楽を取り入れたバンド『BRAHOMAN』のマネージャー。今年1年間『BRAHOMAN』はワールドツアーをします。ワールドツアーの最初の開催地はスリランカです。今回のツアーのコンセプトは色々な国を回り、仏教を、『BRAHOMAN』の世界を広げようというものです。一言い忘れましたが『BRAHOMAN』は仏教がメインの全英語詞の音楽ですー世界の仏教を音楽を通して世界の皆に伝えようという想いで『BRAHOMAN』は活動してます。

ライブを開催する場所は新しく首都になったスリジャヤワルダナプラコッテです。人口が多いという訳ではありませんが首都だからという理由です。

メンバーは4人です。みんな今回のライブに向けて頑張ってきました。



<http://homepage2.nifty.com/an/BRAHMAN/hindu/index.html>

(3) デンマークへ、その国に住む高名な武道家と勝負しに行く

3年3組

<基礎データ>

正式名称 デンマーク王国

首都 コペンハーゲン

住民 デーン人

人口 522万8千人(1995)

人種 北ゲルマン民族

言語 デンマーク語。インド・ヨーロッパ語族の北ゲルマン語群のひとつ

地理 北ヨーロッパの立憲王国でユロランド半島とその東方の島々から成る

地形 平坦な氷食平原で沼沢地が多い

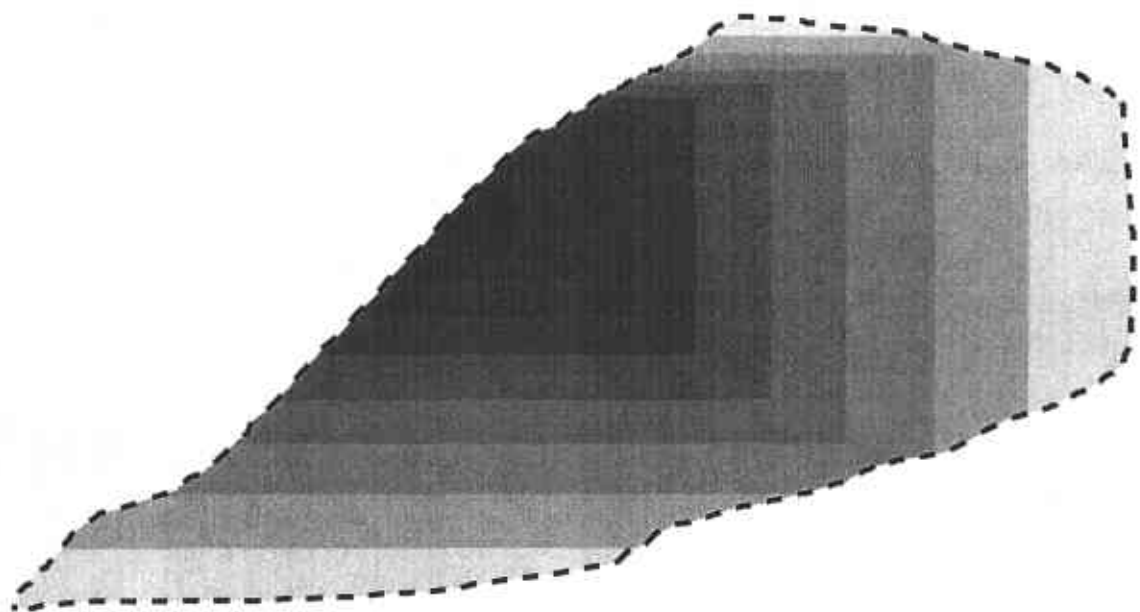
面積 43000 平方キロメートル

体操 デンマーク体操

歴史 9世紀から14世紀にかけ、海洋に進出し国勢盛ん。一時は北欧全域を併合。

交通 東京からコペンハーゲンへはスカンジナビア航空がフライトしている。または、フィンランドのヘルシンキへフィンランド空港がフライトしており、コペンハーゲンへ同日乗り継ぎが可能。午前中に日本を発ち、現地時間で同じ日の夕方に到着する。





闘魂

デンマークに挑む

3年3組

<ストーリー>

オッス！オラ午控！強いヤツと闘うために世界をまわってる。いつか天下一武闘会に出て優勝するんだ！言語は日本語しかしゃべれんが大丈夫。拳で語りかけるからさ！さあ、明日はどっちだ！？

と、自己紹介はここまでにして、私は今、デンマークに向かっている。なぜデンマークかというと、世界地図ダーツで、デンマークに刺さったからである。俗にいうダーツの旅、所さんのいない六十億分のデンマークである。デンマークの格闘家といえばK-1のニコラス・ペタスが有名だ。

「よし、ペタスを殴りにいくか！」

そう意気込みいざ、デンマークへ。

デンマークへは東京からスカンジナビア航空がフライトしている。私はもちろんビジネスクラスで。フライトすること7時間、コペンハーゲンへ到着した。それにしてもここは涼しい。日本は真夏だというのにここコペンハーゲンは肌寒いくらいだ。道着一丁できて正解である。空港から出ようとしたその時、

「HEY! YOU!!」

と男に呼び止められた。おお！第一国民発見か！？そう思い振り返ると男は重苦しい格好をしていた。胸元にはカッコいい名札がついている。どうやらこの空港の警備員のようだ。彼はわりと気軽に私に話し掛けた。

「ペラペラペラペラペラペラペラペラペラペラ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・」

しかし何を言っているのか私にはわからない。仕方がないので私はただただジャパニーズスマイルを見せつけた。そうしていること数十分、彼のマシンガンのような喋りのなかにひとつだけ聞き取れる質問があった。

「Are you TERORISUTO?」

いくら英語もといて外国語の苦手な私でもこれくらいはわかる。

「オーイエー！ ハッハッハッハッハッハッハア・・・・・・・・」

・・・私は相談所のような場所に連れていかれた。取り調べである。私は彼が警備員だということを忘れていた。

「しかしデンマークはジョークの通じない国だなあ」

そう負け惜しみにもとれるような一言を吐き捨て数時間にもわたる取り調べに立ち向かった。彼ら警備員は、私が英語をはじめ日本語以外の言語が通じないとわかると、日本語で話しかけてきた。そうか、空港で働くヤツは数ヶ国語くらい話せるんだっけ。そう思い見栄を張っていた過去の自分に後悔。

警備員はいろんなことを聞いてきた。出身国のことやこの国に来た理由、目的、ポケットに溶け残っていた粉洗剤についても深く問い詰められた。なにせかれらは私のことをテロ

リストだと思い込んでいる。それに加え最近の日本人観光客はマナーが悪い。ハワイでは花火をやるし、モアイ像に自分の名前を彫るやつまでいる。かれらはそんな日本人の悪行を私に重ね合わせているのかもしれない。ならばなおさら無実を証明しなくては！

「だからちがうって！オラ、テロなんてしたくねーし」

「ウソオッシャイ！アナタ、サッキジブンデテロレストイッテタヨー」

「どうでもいいけどカツ丼でないの？」

「デルワケナイッショ！アホチャウカー？」

そんな会話が延々と続いた。

翌朝、私はやっと無実を証明することができた。空港の警備員はジャパニーズジョークを理解してくれたらしい。

「よし、なにをしようかな。」

そうつぶやき、まずは両替をしに行った。日本の通貨yenをこの国の通貨にしなければなににもできない。しかしここでもハプニングが……。びっくり三万円ごまかされた。両替のおばちゃんは何に言ってもすっとぼけやがる。このままではらちあかないので責任者を呼んだ。すると意外にもあっさり三万円はもどってきた。話を聞くとこのおばちゃん、ごまかし常習犯で今回で三度目らしい。これなら三万円があっさり返ってくるのも納得できる。責任者は苦笑いで私を送ってくれた。おばちゃんは解雇処分にするらしい。私はちょっとだけおばちゃんに同情した。でもかねはやらん。

そんなこんなで、あっという間に一日が過ぎてしまった。正直なにもやっていない。やったことといえば両替のおばちゃんを解雇処分にさせたくらいだ。過ぎた時間はもどってこないし、しょげてても仕方ないので今日は野宿することにした。なぜ野宿なのかって？それはデンマークのホテルはとて宿泊費が高いからだ。中級ホテルでも高級並みに高い。だから私は野宿する。そのほうが格闘家っぽいしな。

朝が来た。なんだかんだいってもう三日目だ。はやくニコラス・ペタスと闘わなくては！ん？ペタス？ああああああああああ！私は大事なことを忘れていた！私はニコラス・ペタスの居場所、全く知らないのだ。あてもない。私は大急ぎで日本にいる親友のクソソンに電話した。国際電話。コレクトコールで。

「イフイフ（if if＝もしもし）クソソンか？オラだ！午空だ！」

「なんだよ午空！コレクトコールなんて使いやがって」

「なあ、ニコラス・ペタスってどこにいるかわかるか？」

「ああん？ペタスならいま日本にいるぜ。テレビに映ってたし。」

その一言を聞いて私はショックのあまり受話器を落としてしまった。なんと、日本にいたら、ジャパンにいたら？

私はここにいる目的を失ってしまった。空港の警備員に捕まったことも、両替のおばちゃんにごまかされたことも、この三日間ももはやなんの意味ももたない。しかし、ただでは終わらんただでは……！

というわけで、三つの選択肢が私の頭に浮かんだ。

1、仕方がないからこのまま観光を楽しむ

- 2、とりあえず強そうなやつに喧嘩売る
- 3、やっぱり帰る

「オラ！」

ドスッ！！

私は思わず「3」を選びそうになったが、やはりなにもしないで帰るのはいやだったので「2」を選んだ。

私の正拳突きが突き刺さったが如く相手の腹部にめり込んだ。相手は誰かって？私が喧嘩を売った相手は、国家権力の象徴である警察官だった。彼のかじっていたドーナッツが地面に落ち、それに続くように彼の身体も倒れた。それを見た彼の相棒は急いで無線で応援を呼んだ。数分後、警察官の波が私を襲う。それに負けじと私も五体を駆使して対応した。一人、二人、三人・・・と私は警察官を倒していった。が、59人目で記憶がとんだ。

気が付いたらそこは牢屋の中だった。私はどうやら刑務所にいるらしい。身体は大した異常はなかったが、強いて言えば身体の所々が保健や生物の教科書では有り得ない方向にまがっているくらいだ。しかし私は刑務所に入れられたことを不幸に思っていない。なぜなら社会の裏側に隠れた凶悪犯や強者と闘うチャンスがあるからだ。そんな獄中ファイトを期待しながら私は今を生きている。

さあ！あしたはどっちだ！

(4) セネガルへ、食べ物雑誌の取材に行く

3年4組



「セネガルへ食べ物雑誌の取材に行く」

セネガル共和国

1. 面積 197.161 平方キロメートル
2. 人口 928.5 万人(1999 年)
3. 首都 ダカール(人口約 200 万人)
4. 人種 ウォロフ族 44% プル族 23% セレール族 15% 他
5. 言語 フランス語(公用語) その他 各部族語
6. 宗教 イスラム教 95% キリスト教 5% 伝統的宗教
7. 元首 アブドゥライワッド大統領
8. 主要産業 農業(落花生、粟、綿花、サトウキビ)
漁業(マグロ、カツオ、エビ、タコ)
鉱工業(磷鉱石、食品加工)
9. 国民総生産(GNP) 一人当たり GNP … 510 米ドル(99 年) … 米国の 58 分の 1
※経済の低迷で失業者が増加している。
10. 通貨 フラン
11. 食事 主食…ミル(トウジンビエ)と米 その他にフランスパン



1.★首都ダカール



2.★ダカール市の風景

12. 気候・風土 アフリカ大陸の最西端にある。サハラ砂漠のある北部内陸部は、乾燥して暑く、大西洋沿岸の地域は、比較的涼しい。北に行くほど雨は少なく、半乾燥の風景が広がるのに対して、南へ行くほど亜熱帯になる。セネガルには、雨季と乾季があり雨季は北へ行くほど短く、南へ行くほど長くなる。(2~5 ヶ月間)国土の砂漠化が進み、慢性的な干ばつで食料生産が低迷、多くの国民が飢餓に苦しんでいる。

13. 世界遺産 ゴレ島

ニコオロ・コバ国立公園
 ジュッジ国立鳥類保護区
 セントクリストファー・ネイビス
 プリムストーン・ヒル要塞国立公園
 サンルイ島



3.★ゴレ島

14. 安全な水 水道などとは無縁で何キロも離れた井戸や川に頼って生活する住民にとって、毎日の水汲みは重労働です。また、せっかく汲んだ水にも細菌や寄生虫が潜んでいることがあり、病気にかかる恐れもあります。この地域での幼児の死亡原因のトップは下痢であると言われています。日本の暮らしからは想像しにくいかもしれませんが、小さな子ども達にとってあるいは大人にとっても、体力を奪い去っていく下痢は死に至る病気ともなり得るのです。



4.★水の利用者



5.



6.

7.



★ セネガルでは、1979年より日本は給水塔の建設を始め、現在では全国100ヶ所以上に写真のような給水塔がそびえています。

8.



9.



10.



11.



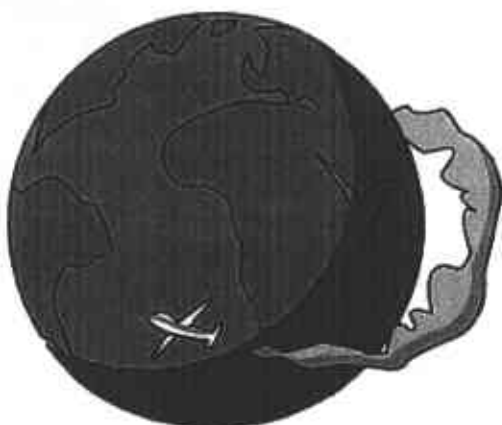
★セネガルはパリ〜ダカルラリーの終点、ダカルを首都とする国です。セネガルは北側ではモーリタニアと国境を接し、サハラ砂漠の南側、いわゆるサヘルと呼ばれる地域に当たります。南のほうはだんだんと湿潤になり、森林も豊かになってきます。

13.





12.★パリ〜ダカールラリー・コース



☆旅のストーリー☆

セネガルへの取材旅行は、自分と通訳の2人で行く事にした。気温、湿度ともに高い6～10月を避け11月に行く事になった。

11～5月は、雨がほとんど降らず気温も下がるため、長袖の服や上着も持って行く事にした。

旅の経路は、成田空港を離陸した後、フランス・パリの、シャルルドゴール空港を經由し、

セネガルのダカール空港に到着するという経路を選んだ。パリまでは、約12時間の飛行で、一泊した後、ダカールへ向かうことにした。翌日、パリの空港でダカール行きの飛行機のチェックインカウンターにはセネガルへ帰るセネガル人達でいっぱいでした。みんな家族にたくさんのお土産を用意している様でした。僕たちも飛行機に乗り、6時間かけてやっとセネガル、ダカール空港に到着しました。飛行機を降りて初めに驚いたのは「海の匂い」がしたことです。僕は、アフリカ＝大地と思いこんでいたので、最初に「海」を感じたのは、少し不思議な気分でした。ダカールはアフリカ大陸の西端部に位置する港町であったからだろうと思います。

セネガルにはタクシーや乗り合いバスなどたくさんの車が走っていました。これで移動に困ることはなさそうです。街の人々はとてもオシャレで民族衣装もカラフルで綺麗でした。街を歩いていると以前は、フランスの植民地だったのでフランスパンのお店がたくさんありました。セネガルのパンは意外にとっても美味しかったです。また、街のいたるところにオレンジを売っている屋台がありました。それは、器用に皮が剥かれていて、街の人々は、それを食べ、おしゃべりをしながら歩き、皮や種は、道へ捨てているようでした。これはどうしてだろうと思っていると、そこら辺にいた山羊たちが食べてくれていました。これ

もセネガルらしくておもしろいなあと思いました。セネガルには、セネガル料理店の他に、韓国、中国、ベトナム、イタリア、フランス料理店などがありました。しかし、日本料理店は無いようです。また、フランス料理などは、価格も高いようでした。

また、セネガルは、水質があまり良くないので、これらの飲食店でも水、氷は避け、ボトル入りのミネラルウォーターを注文する方が無難のようです。



16.★南フランス風レストラン



17.★フランス料理～鴨のポワレかぶのソース添え
油で焼いた鴨の肉に、にんじん、たまねぎ
かぶなどを炒め、白ワインを加えたソース
をかけたもの。

次に、セネガル料理の紹介をします。セネガルを代表する家庭料理に、チュブジェンがあります。魚と野菜を煮た後のその汁でご飯を炊きます。炊いたご飯の上に煮た魚や野菜を載せてできあがりです。決め手は香辛料でこれがうまさの秘密らしいです。現地語の1つウォロフ語でチュブは米、ジェンは魚を意味します。1枚の大きな皿を囲んで家族全員で食べるのですが、自分の領域のようなものがあって、ケーキとかピザを切るような感じで食べていきます。基本的には右手で食べるのですが、ちょうど寿司のしゃり位の大きさに握ってから食べます。スプーンを使って食べるときでもぐっと皿に押しつけるようにしてご飯を握った状態で食べます。左手を使うことはタブーです。これは、日本人の口にも、とても合う美味しい料理でした。

他には、ヤッサ・ブレという料理があります。これは、白いご飯に、野菜、お肉や魚をちよっと酸っぱめに煮込んだものをかけて食べる料理です。そして、スープカンジャという料理もあります。「カンジャ」というのは、セネガルの言葉でオクラのことだそうです。タマネギとお肉とオクラをたっぷりと入れて、ヤシの油で煮込んだものをご飯にかけて食べます。セネガルの家庭料理には、マフェというものもあります。これは、トマトと肉（ビーフやチキン）、野菜、ピーナッツ・ペーストを使ったシチューで、使用する野菜は家庭によって様々なようです。ほとんどのアフリカ諸国で作られているそうですが、ご飯にかけて食べるのが、セネガル流のようです。



18.★チェブジェン



19.★ヤッサ・プレ



20.★スープカンジャ



21.★マフェ

☆まとめ☆

セネガルはアフリカ大陸西端部に位置し、首都ダカールは海に面した港町であるため魚介類が豊富に捕れ、どこへ行っても新鮮なものが手に入り、それらを使った料理がたくさんありました。どれも日本人の口に合う美味しいものばかりでした。

セネガルの人々は、明るくとてもいい人ばかりでした。今回の取材旅行で経験したことを生かし、日本に戻ったら面白い雑誌を創りたいと思います。

写真資料： 1.2.<http://www.h3.dion.ne.jp/~ymuroi/01-9-senegal-shashin.htm>

3.<http://www5b.biglobe.ne.jp/~tairiku/wh.af.htm>

4.5.6.7.8.9.<http://www.jica.go.jp/senegal/eau/eau-jp.html>

10.11.http://www.asahi-net.or.jp/~DV2S-OKN/timemachine/senegal_01/sngl_txt01/sngl_map01.htm

12.http://www.nismo.co.jp/M_SPORTS/2000/dakar/map.html

13.<http://www.mitsubishi-motors.co.jp/DAKAR/snapshot/index.html#>

14.15.http://www.mitsubishi-motors.co.jp/motorsports/02dakar_j/photolibrary.html

16.<http://www.restoaparis.com/restoaparis/rap.nsf/bytitle/news0400JP>

17.http://www.ultec.co.jp/naoko/canard_navets.html

18.<http://homepage1.nifty.com/sahelnet/mali/foods/foods001.html>

19.<http://www.geocities.co.jp/SilkRoad-Ocean/2302/>

20.<http://homepage1.nifty.com/sahelnet/mali/foods/foods006.html>

21. <http://www.ultec.co.jp/naoko/mafe.htm>